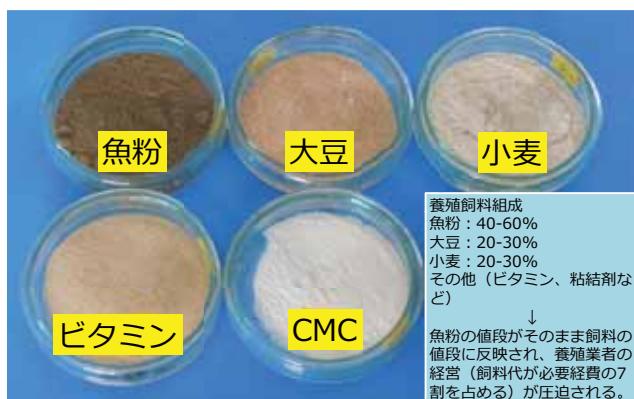


イエバエを用いた養殖魚の機能性飼料の開発

岩井俊治（南水研）・井戸篤史（愛媛大社会連携）・伊藤克敏・三浦智恵美（南水研）
浦崎慎太郎（愛南町）・太田加代子・山口園子（南水研）・串間充崇（アビオス社）・三浦 猛（南水研）

養殖飼料の主な構成成分



魚粉代替飼料の必要性

魚粉を用いた養殖飼料は大きな問題を抱えている

1. 魚粉価格の高騰

需要拡大や燃料高を背景に価格が高騰。
養殖業者の経営は危機的状況に。

2010年
220円/kg超

(円/kg)



2. 過度な輸入依存

我が国の魚粉のほとんどは南米から輸入。
国産の養殖魚でも、輸入に依存している。

3. 乱獲による資源減少

世界的に野生魚が乱獲されており、
魚粉用の魚の漁獲高は大きく落ち込んでいる。

→魚粉に替わる新たなタンパク質源が必要

魚粉に代わるタンパク質源の候補



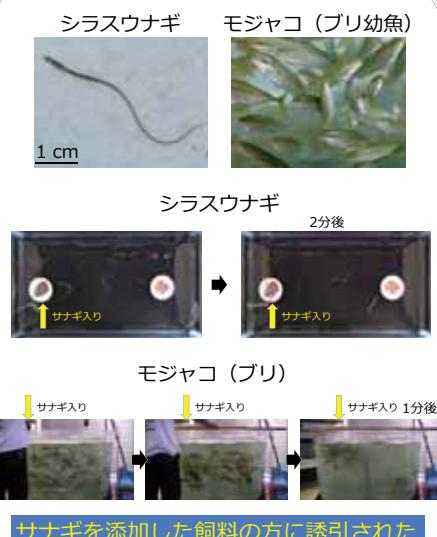
イエバエ (*Musca domestica*)

- ・高効率で幼虫、サナギの生産が可能。
- ・豚糞や水産加工残渣などの廃棄物で育成可能。

↓
イエバエの魚粉代替飼料原料としての可能性を検討した。

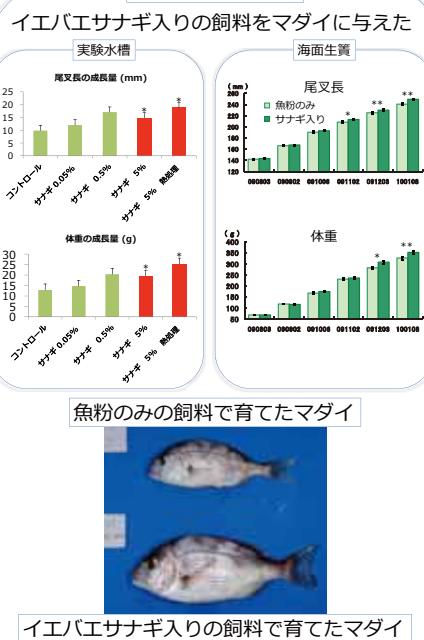
- ①誘因効果
- ②成長促進
- ③耐病性獲得

①誘因効果

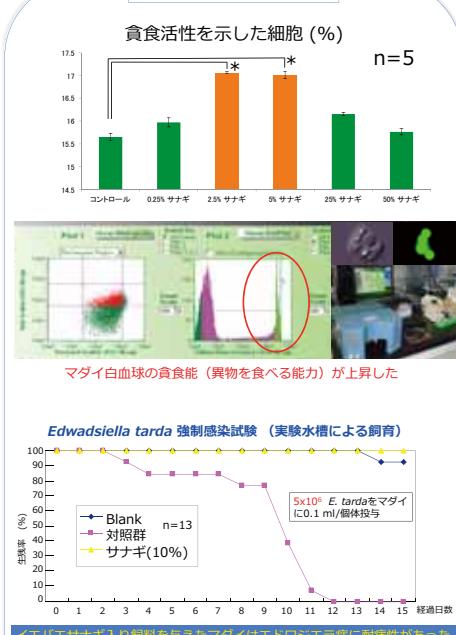


イエバエサナギには
誘因効果がある
動画を参照

②成長促進



③耐病性獲得



イエバエサナギには
耐病性獲得能がある

イエバエサナギは養殖魚用飼料として有用な資材である

今後の課題

- ・機能性物質の同定
- ・他魚種への応用

